

# KTK ひゅうまん 京都

No. 538 2021年9月号

編集／京都障害児者の生活と権利を守る連絡会 〒603-8324 京都市北区北野紅梅町85 弥生マンション内  
編集発行責任者／池添 素 電話&FAX(075)465-4310 購読料 1部80円 年間購読料1,000円(送料実費)

- P 1 左大文字 つどめ
- P 2 常任委員会から 池添 素
- P 3 障害のある人の暮らし 沖田友子
- P 4 血の染みついたバトン 中村 暁
- P 5 障害者と共に歩んだ京障連の50年 松本 美津男
- P 6 包摂の連鎖 和田 浩
- P 7 つれづれあらぐさ 中山 恵美子
- P 8 2+2=詩 富士一文
- P 9 障害のある人の権利を守る北障連から 濱中 博
- P 10 365歩のマーチ 安藤 史郎
- P 11 知っ得情報 松本 美津男
- P 12 力を合わせて生きる 金順喜

## 左大文字

### 「戦争と障害者」

東京パラリンピックは終わったが、その後の話はまだ続いている▲アフガニスタン代表のテコンドー女子選手と陸上男子選手が9月6日夜にパリに向けて出国したことが報じられた。アフガンで起きたイスラム主義タリバンの政権掌握という政変で、2人の出場は一時絶望視された。オーストラリアやフランスの支援で国外に脱出し、無事に来日しパラリンピック出場が叶ったのだ▲そもそも、20年前の2001年9月11日、米国で起きた同時多発テロを機に、米軍のアフガン攻撃が始まりタリバンは追放された。直後にはイラクへの侵攻も始まった。あれから20年。「正義の対テロ戦争」は迷走の末、今年8月に「意味のない戦争」「誤った戦争」という烙印を押されて米軍は撤退する。そしてタリバンが復権した▲愕然とするのはアフガンで4万7千人、イラクでも18万人以上の何の罪もない民間人が犠牲になっていることだ。心身に障害を負った市民はさらに膨大となる。米軍にも深い傷が残った。戦死者7千人に自死した現役退役軍人はその4倍3万人超。PTSDの重圧をかかえる帰還兵はさらに多い、という▲多数の障害者が戦争や他の形の暴力の犠牲者だ、と宣言した国際障害者年。その警鐘は今も鳴り響いている。

つどめ



「かまきり」  
渡辺あふる

# 常任委員会から

〈第2回も全国から〉

ずに不安でいっぱいです。

9月1日に第2回「子どもと親のSOSをキヤッチする仕組みを考える」シンポジウムを開催しました。昨年7月に支援学校高等部の生徒が母親の手によって命を奪われる事件が京都で起こりました。障害児を育てる親や支援者たちが集まり、二度とこのような事件が起こらないためのしくみを考え続けてきました。1回目のシンポジウムは2月に開催しました。今回は、「高等部卒業後の子どもと親のくらしを考える」としました。事件が起こった背景に、高等部卒業後の進路に対しての不安が

少しでも役立つ情報やどのような課題があるのかを共有することで、親子のくらしに見通しをもつて欲しいという目的をもったシンポジウムでした。全国から120名を超えるオンラインでの参加者があり、様々な感想をいただきました。「実際に本人・ご家族が求めているニーズと現実の法制度等との乖離を改めて感じています。国の財政が苦しいなか、また少子高齢化が進むなか、ますます当事者を取り巻く環境は厳しくなっているのだからと個人的には考えております」「未だに当事者の親御さんからどこに相談していいのかわからなくて、ホームページで調べて電話をしましたというお電話を時々いただきます。どのように福祉事務所のケースワ

ーカーとつながっていないケースもまだまだありますので、本人・親が孤立しないネットワークや環境づくりの必要性を改めて感じております」など、皆さん身近に困難を感じての感想が寄せられました。この取り組みをさらに発展させ考えていきたいと思えます。

〈野党共闘で〉

立憲民主党、日本共産党、社会民主党、れいわ新選組の4党はこの秋にある衆議院総選挙に向けて、野党共闘を組み、政策で一致し、「自公」の国民置き去りの政治を終わらせるとしてタッグが組まれました。「やっ」とか「ギリギリセーフ」とか「マッテマシタ」とか、いろいろな掛け声が聞こえてきそうです。最悪な安倍政権を引き継いだ皆さん。国民の支持を得ることが

できずギブアップした後は、またぞろ同じような総裁候補が名乗りを上げて売り出し中。もう

現在の与党政権に何の希望も見出せません。早く政権交代を実現して、一日も早いコロナ禍の収束と、国民の命とくらしを守る政策で国政を立て直してほしい。野党が共闘しても、国民の支持を得られなければ絵に描いた餅です。今掲げられている一致したテーマは「命を守るために政策転換を」として、憲法に基づき、コロナ対策、格差と貧困の解消、地球環境の保全、ジェンダー視点の社会の確立、公平で透明な行政の実現をあげています。弱者を置き去りにしない視点をもう一点加えてほしいところですが、政権をとってからでも遅くないと思いい目をつぶります。どうしたら野党共闘への国民の信頼を得るために、できることは何か。短時間決戦です。コロナ禍での選挙活動、これも新しい経験です。

池添素（京障連事務局長）

## 障害のある人の暮らし 〜誰とどこに住むか選択できる権利を！

沖田友子

息子が入居するグループホームから見えてくるもの③

グループホームの利用料は、家賃、光熱水費、日用品費、食

費（朝食・夕食）で約7万円を毎月支出している。国からは別途家賃補助として1万円が事業所に給付されている。生活費はこれら利用料に生活介護の昼食（給食）、送迎費を合わせると8万5千円程度になる。

本人の収入は障害基礎年金と年金生活者支援給付金、そして一応給料と呼ばれている硬貨（定食1回分程度の金額）で、合計すると生活にかかる経費をぎりぎり支払える金額である。おやつや余暇の為にかかる費用、例えばスーパー銭湯代やラ

ンチ、洋服代などは家族が負担している。重度の障害があり、働いて収入を得ることが難しい分は家族に頼らざるを得ない現状だ。

家賃補助を独自で1〜2万円補助している自治体もある一方で、この補助があれば働くことができない障害者も少しは安心して楽しみを増やし、家族の経済力に頼ることなく暮らすことができるのではないだろうか。

障害者が入居するグループホームは障害者総合支援法の訓練等給付の共同生活援助というサービス種別に分類される。就労したい、訓練をしたいなどと同一サービス分類にされていることと自体、重度の障害者が利用することを想定されていないと思

う。自分で就労し収入を得て、宿泊できる場所を運営するための補助であると思えない。入浴や排せつに支援が必要で常時見守りが必要な障害者が暮らすためには、夜間長時間にわたる世話人が必要である。夜は就寝することが前提になっているからだろうか、14時間を超えるホームの報酬は個別給付という一人一人の障害像に合わせた居

宅介護や生活介護の報酬と比較すると低くなっている。このような報酬構造では安定した人材を確保することもできないだろう。周りの人が気になり眠ることができない、発作が起きるかもしれない等緊急時の対応ができる職員体制を確保するために、根本的な改善ができないものだろうか。

「グループホームの開設お手伝いします」など利益が見込めますとの広告がネット上では見受けられ、全く福祉と関係ない企業の参入も見受けられるが、そこでは支援をたくさん必要とする障害のある人は想定されていない。

障害のある人が普通に暮らすために家族の経済力をあてにしない障害基礎年金の拡充やグループホームの事業所が安定した経営ができる報酬体系の見直しを実現できるよう、声を上げていきたいと思う。



# 血の染みついたバトン

中村 暁（医療ジャーナリスト）

## ⑨どのいのちもが

尊ばれるように

新型コロナウイルス感染症（以下、コロナ）「第五波」の感染爆発は凄まじい。京都府は受入れ病床を計六一四床に増やしたが、病床使用率は八割超で入院は難しい。自宅療養者数が約五〇〇〇人、宿泊施設療養者数が約四〇〇人。全療養者数に占める入院率は一〇パーセント程度。感染しても一〇人に一人しか入院できない。こんなふう

呼吸器等の救命医療に必須の医療資源が不足、払底した場合の対応<sup>i</sup>として、「災害時におけるトリアージの理念と同様に、救命の可能性の高い患者を優先」すべきと提案した。

もそも治療の見込みがないとされる人から人工呼吸器を取り外すことからして「消極的安楽死」にあたり、法的・倫理的に論争がある。にもかかわらず「提言」はさらに踏み込み、装着し続ければ助かる可能性のある患者でも、より助かる可能性が高い患者が他にいたら、人工呼吸器を取り外しても良いとしているからである。

を不問にすることは、権力に対する医療の敗北であり、知の敗北である。

したが、病床使用率は八割超で入院は難しい。自宅療養者数が約五〇〇〇人、宿泊施設療養者数が約四〇〇人。全療養者数に占める入院率は一〇パーセント程度。感染しても一〇人に一人しか入院できない。こんなふう

人工呼吸器に限らない。今日、同じコロナの患者でも入院、自宅療養、宿泊施設療養の何れかに処遇が分けられること。それを行政が「病床ひっ迫」状況をにらみつつ判断していること。

完全に同意である。

医療がひっ迫すればトリアージを鳴らす<sup>ii</sup>。特に「提言」の「いったん装着した人工呼吸器を外す対象となる患者は、救命・生命の存続が困難な人のみならず、治療を維持すれば救命・生命の存続の可能性のある患者を正當化するわけにいかない。医療ひっ迫の背景にある政策問題

これらも倫理問題を孕んだトリアージといえる。こんなことを言えば「非常時だ」、「資源には限りがある」と叱られる。だが「非常時」という言葉で、必要なすべてに医療が届かない現実を正當化するわけにいかない。医療ひっ迫の背景にある政策問題

<sup>i</sup> 生命・医療倫理研究会 HP [https://square.umin.ac.jp/biomedicalethics/activities/ventilator\\_allocation.html](https://square.umin.ac.jp/biomedicalethics/activities/ventilator_allocation.html)

<sup>ii</sup> 「コロナ禍での医療資源配分をめぐる問い―人工呼吸器の配分とトリアージ―」 武見基金 COVID-19 有識者会議 HP <https://www.covid19.jma-medical-expert-meeting.jp/topic/3352>

生命・医療倫理研究会有志が「COVID-19の感染爆発時における人工呼吸器の配分を判断するプロセスについての提言」<sup>i</sup>（以下、「提言」）二〇二〇年三月二〇日）を発表した。彼らは「人工

生命・医療倫理研究会有志が「COVID-19の感染爆発時における人工呼吸器の配分を判断するプロセスについての提言」<sup>i</sup>（以下、「提言」）二〇二〇年三月二〇日）を発表した。彼らは「人工

<sup>i</sup> 生命・医療倫理研究会 HP [https://square.umin.ac.jp/biomedicalethics/activities/ventilator\\_allocation.html](https://square.umin.ac.jp/biomedicalethics/activities/ventilator_allocation.html)

<sup>ii</sup> 「コロナ禍での医療資源配分をめぐる問い―人工呼吸器の配分とトリアージ―」 武見基金 COVID-19 有識者会議 HP <https://www.covid19.jma-medical-expert-meeting.jp/topic/3352>

# 障害者と共に歩んだ京障連の50年(9)

京障連代表委員 松本 美津男

## 啓発活動等を兼ねた事業活動を進める

活動を進める上で常に伴う資金作りは苦勞の種ですが、アピール性を持った財政活動をしよ  
うと、次のような取り組みを行  
いました。

### ○タクシーの障害者割引券の普及

京都の自治体を実施していな  
い時期に京聯タクシー労組と協  
力し障害者割引券の普及活動  
を行いました。(1977年)

### ○憲法のれん作成普及

京都府政が自民党中心の府政  
になってから、京都府庁に掲げ  
続けられていた「憲法を暮らし

に生かそう」という垂れ幕が下  
ろされてしまいました。

林田府政は、この垂れ幕がよ  
ほど目障りだったようです。し  
かしこれは重大な問題でした。

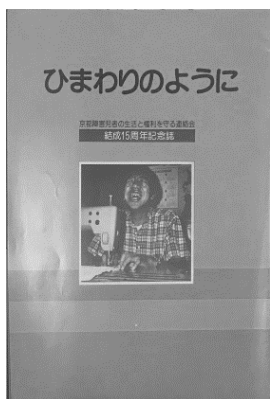
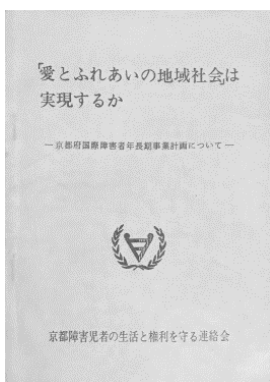
今まで掲げていたこの垂れ幕を  
わざわざ下ろすと言うことは、  
京都府政が府民の暮らしに憲法  
を生かさないと言っているかの  
ようで、見過ごせませんでした。

そこで、府庁に掲げないのな  
ら、みんなで掲げられるよう  
しよと憲法のれんを作って普  
及することにしました。のれん  
の文字は民主府政の継続のため  
府知事選に立候補して奮闘され  
た前京大教授の杉村敏正氏に書  
いてもらいました。(1978

○パンフレット『愛とふれあい  
の地域社会』は実現するか』を  
発行  
なる前に発行しました。(1983

京都府が副題を「愛とふれあいの  
地域社会の実現をめざして」とす  
る京都府国際障害者年長期事業  
計画を発表しましたが、きわめて  
「障害者の声 生々しく」京障連  
結成15周年で記念誌刊行」との見  
出しで紹介してくれました。(19  
85年)

に原稿をお願いして「計画」の練  
り直しを求めるパンフレットを  
発行普及しました。(1982年)



### ○30周年記念のつどい開催

藤本義一氏記念講演「新世紀の  
日日日日(ひびじつじつ)」(20  
00年)

### ○障害者版憲法手帳の発行

大橋隆憲会長の強い思いによ  
る提案を受けて障害者版憲法手  
帳の発行を行い、大橋会長が亡く

○全障研京都支部と協力して、京  
都障害者白書を2回発刊、社会福  
祉講座も連続開催

## 包摂の連鎖

弁護士・和田浩

今年の3月、京都地裁が、京

都市に対して、ジョナさんの電動車椅子のリフト機能部分の費用を支払うことを義務付け、これが確定した後、その費用の額

他方、先月、注目すべき報道

について京都市との間で争いが生じていることについては、先

1日から、重度障害を有する方の就労機会の拡大等を図るための事業を実施し、重度障害を有

月号までに弁護士から紹介されました。具体的には、京都市に

支援を新たに実施するという報道です。

よる1万円程度の支給決定に対して、ジョナさんと弁護士は11

現行の障害者総合支援法においては、障害を有する方が経済活動をを行う際の介護サービスの費用は、公費支給の対象外と解

に自分たちの誤りを認め、ジョナさんに対して、本来支給されるべき11万円を支給すること

費用を自己負担することを迫られることから、重度障害を有する方の就労は簡単ではありません

を決定しました。

このように、ジョナさんとノアさんは、制度が障害を有する方の

これで、約7年間にわたるジョナさんの困難な闘いは、よう

この問題を解決するために果敢に活動してきたのが、ジョナさんの弟のノアさんでした。ノアさんは、京都市や厚労省に実情を訴

え、粘り強く制度の改正を求めました。そしてついに、京都市

において、先述の新たな制度が創設されたのです。

その連鎖に加担し、常により包摂的な社会を実現するための活動をすることは、弁護士の使命の一つであるに違いありません。私

はそのことを、ジョナさんとノアさんから、教えられたのです。



権利を不当に制約している現実

に直面しながら、それに甘んじることなく、異議申立てを敢行しました。ジョナさんは司法に訴え、

ノアさんは立法を促し、ついには裁判所と京都市を動かして、社会的包摂の理念に命を吹き込んでくれました。

差別や排除が容易に連鎖するのに対して、包摂はおのずと連鎖するものではないかもしれませ

ん。しかし、ノアさんやジョナさんの闘いや、多様性をめぐる昨今の社会状況を見ると、私は、私たちの生きている社会が、今まさに包摂の連鎖を始めようとしているように感じています。

その連鎖に加担し、常により包摂的な社会を実現するための活動をすることは、弁護士の使命の一つであるに違いありません。私

はそのことを、ジョナさんとノアさんから、教えられたのです。

そのように、ジョナさんとノア

さんは、制度が障害を有する方の

を有する方

# つれづれあらぐさ

あらぐさ福祉会は長岡京市にある社会福祉法人で、障害のある人たちの暮らしを支える事業を行っています。1986年に無認可の共同作業所を開所して以降、日中の通所から生活の場、ヘルパー事業所等、地域で暮らし続けるために必要なものを作り出してきました。今回の連載開始にあたり、「障害者の喜びと悲しみ、家族の喜びと苦悩、職員の働き甲斐と先が見えない苦悩…そういうことが浮き彫りになればと思います」とお話をいただきました。日々自分が経験していることや感じていることを通して、それぞれの一場面を綴れたらと思います。なお、内容については個人情報に配慮して構成しています。

## 場面② 夕方の来訪者を出迎える

夕方になると、窓の外から聞こえる「な・か・や・ま・み・ほく」の声。近くのグループホームに入居している彼がやってきました。同じ苗字の有名な（中山美穂）の名前で呼びかけるのが、面白いようです。彼とは支援者と利用者という出会いではなく、グループホームに出入りしている中で偶然知り合いました。

声に呼ばれて出ていくと、「じゃあ、バイク行ってこよー」と駐輪場に停めてある新車のところへ。こちらの様子を見ながら、エンジンをはける真似をしたりシートをチョップしたりと楽しそうです。その後「ほな、しゃべるか」とやって来て、「中山さん、いい服着てるなー」「中山さん、べっぴんやなー」と最大級の褒め言葉から会話が始まります。

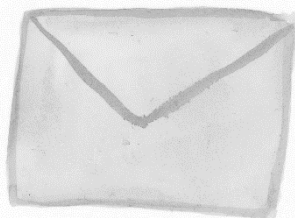
通所の人たちのことを「僕、大事にしているから」と言うので、どういふことか尋ねると「呼び捨てにしないことやろ、あと口答えしない」の答え。周りの人達を「みんな優しいと思うよ」の言葉に、彼の人柄を感じます。アイドルグループの嵐で好きなのは「おおば！」（おそろく大野くんと相葉くん）、「中山さん、髪の毛短くしたら？」、「やっぱり、今のがいいと思う」等々の世間話をしていきます。

彼に限らず、「ホーム入居は本人の希望でなかった」「本人はホームに泊まりたくない」という支援者の嘆きや葛藤を耳にすることがあります。カレンダーが頭の中に入っている彼は、自宅で過ごす週末や連休まであとどれくらいか、毎日確認しています。その一方で、「（ホームも通所も）がんばってます」と書いている手紙や七夕の短冊、ホーム生活の中で話したい人達に会いに行っている姿を見ていると、時間をかけて自身の生活を築いているのではないのかなあ

と思うのです。自宅に帰るのを待ち望んでいるのも、ホーム生活を頑張ろうとしているのも、どちらも彼の本心のような気がします。

10分ほど話すと、「ほな、中山さん仕事いきましょか」と気を遣って話を切り上げる彼。帰り際に「（今日は）会えてよかったなあ」と言われた時は、ドキッとしました。最近、秋生まれの二人の誕生日の話をしています。誕生日にもらう手紙の宛名が「中山美恵子様」なのが毎回気になるのですが、今年はどうかなあ」と少し期待しています。

中山 恵美子（あらぐさ福祉会）





# 2 + 2 詩

「風」

びゅうびゅうと音を立てながら強風が街角を駆けてゆく  
己の来訪を告げるように轟々と大声を上げながら

気づけば道には僕ひとり

ほかには人の気配もない

一人走る僕の背に風は吹きつけ、正面から飛びつき、  
逃がすまいとするようにまとわりつく

街を独り占めする邪魔をする僕を追い払いたいのか

誰もいない街は寂しいから

ちよつかいをかけてくるのか

風の気持ちはわからない。

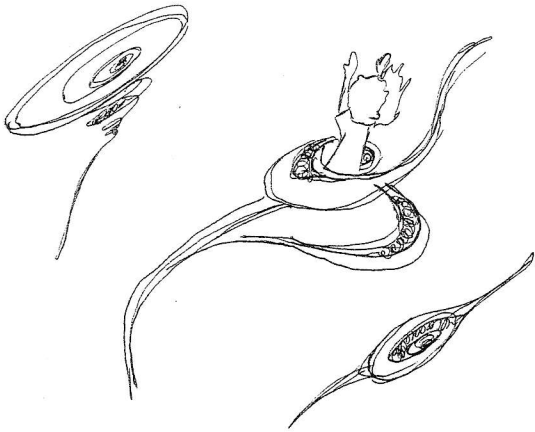
何を考えているかわからない

訊ねてみても答えはなく、

問いかけの声すら呑み込んで

高く高く風は行く

遠く遠くに飛んでいく



「漂流物」

変わらない不安が絶え間なく湧き上がる。  
追い立てられるように、押し流されるように  
三十数回目の夏が過ぎていく。

その事実だけで気持ちが滅入り

嫌だと何度呻いても現実が覆ることもなく

敵しく煩わしい暑さのように

まとわりつく息苦しさに喘ぐばかり。

完璧に程遠い道程を振り返っては嘆き

完璧に程遠い有様であがき続け

完璧であつてもいつか終わる道行に絶望して。

生きる意味も生まれた意味も

見つけられないまま、

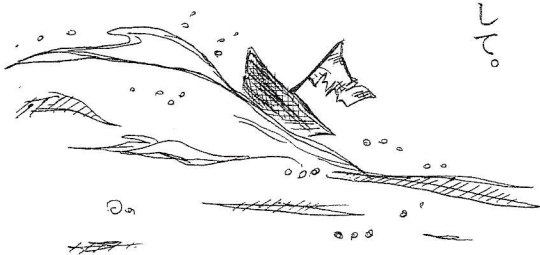
刹那の娯楽だけを頼りに、

どうやら僕の漂流はまだ続く。

好ましいか

好ましくないかの判断もできないまま、

まだ続く。





障害のある人の  
権利を守る 北障連から  
濱中博

2015年 学習会

①「障害をもつ本人・きょうだい・家族の人生設計」  
障害児者の「きょうだい」支援を考える

諸戸雅治先生(福知山市民病院小児科)



諸戸先生



山添博史施設長

②「京丹後市の要望書の  
もつ意味と意義」

山添博史さん(京丹後市障害者団体連絡会事務局長 あみの福祉会 施設長)

諸戸先生に会え、話が聞けて  
本当に良かった

もっと早く先生に出会うことが  
できれば、一人で悩む事も、きょう  
だいの思いも分かることができ  
たかも知れないと残念に思いまし  
た。今日、諸戸先生に会えて、話  
が聴けて本当に良かった。

きょうだいの力は素晴らしい。

北部医療センターにおられる  
ときから、色々とお世話になり  
ました。きょうだい支援につい  
てもこの20年間家庭生活で実  
践してきました。諸戸先生の  
話はとても心にしみてくるので  
親の立場として、何度でも、  
何時までも話を聞いていたい時  
間”です。きょうだいには、  
みんなの前で「みくんな大切」  
ということ伝えてきたつもり  
です。きょうだいの力は素晴ら  
しい。共に歩んできた戦友です。

思い、伝え、やり続けることの大切  
さを改めて思い出しました。

要望書の内容や活動について  
は、殆ど全く知識が無かったの  
で、報告を聞かせて頂いて、活  
動で障害者運動が前進してる事  
が良く分かりました。頑張っ  
て頂きたいし、協力させてもらえ  
たらと思いました。  
思い続け、伝え続けやり続け  
ることの大切さを改めて思い出  
すことができました

2017年度 学習会

講演「我が事・丸ごと」地域  
共生社会のねらいは何か

激変期を迎える 子どもも、  
高齢者福祉・介護・障害福祉への  
影響と、運動の展望

西村 直ただし氏 きょうされん  
副理事長、亀岡福祉会理事長



・私(亀岡)で活動を始めた時、作  
業所の利用者は12人でした。それが  
今は約150人。全国共同作業所は、  
30年で6千カ所に増えました。  
障害のある人の働く場所づくりから  
始め、地域の中に生活の場もつくっ  
てきました。地をばうようにして、  
地域の人と障害のある人が共生して  
いく町づくりをして・・・以下略

きょうされん西村理事長は、『我が  
事・丸ごと』地域共生社会のねらいと  
私たちの運動』と題し、厚労省発表の  
文書を読み解き、国の戦略の本質につ  
いて報告されました。とりわけ、国  
の戦略の「根本的な3つの誤り」として、  
その本質を分かりやすく整理されまし  
た。

その3つとは、  
①政策上の誤り(「共生」を高齢者・障  
害者・児童・生活困窮者の混在とする  
政策誘導)

②必要な専門基準の緩和と生産性向上  
③地域の自主的な動きでなく上からの

押しつけ

与謝野町では、国が地域共生型福祉社  
会を言い出す数年も前の2010年、「地  
域共生型福祉施設協議会」が設置され、  
2年間の協議期間を経て施設整備に着  
工、2013年3月に地域共生型福祉  
施設「やすらの里」が開所し、この3  
月で満5年を迎えました。やすらの里  
における共生型の良さと国の戦略を対  
比すると、『我が事・丸ごと』地域共生  
社会のねらいと誤り理解することがで  
きます。

①「やすらの里」と国戦略との違いに  
ついて、次の様に整理出来ます。  
①「やすらの里」は上からの押し付け  
でなく、地域住民の願いに基づき整備  
されているから(1)、  
開設後のやすらの里は「福祉が地域  
を再生」との評価を得ている。

②施設整備を町行政が民間に一任する  
ことなく、用地取得・土地造成にお  
いて行政の公的責任を發揮するなど  
町が全面協力しており、建物は民間  
主導で建設している。福祉の公的責  
任と公費支出を引き下げる狙いが丸  
見えの国の戦略との対比が鮮やかで  
ある。  
③「やすらの里」は職員配置基準と  
専門性が担保され、異分野の4法人  
が共存連携することで共生の良さが  
輝いている。安上がりの福祉で、生  
産性向上と効率を求める国の戦略と  
の違いは明瞭である。

この様に見ていくと、地域と福祉  
と行政が連携し、一旦閉鎖されたリ  
ソート施設リフレカやの里を再生す  
る取り組みも、地域共生型福祉施設  
やすらの里の取り組みも、国が進め  
ようとする『我が事・丸ごと』地域  
共生社会戦略の対抗軸となつて、今  
後のわが国の福祉のあり方を指し示  
していると言えるのではなからうか  
(よきのうみ福祉会 青木一博)

# 365歩のマーチ



## 18 こんなにも大変だったのが

コロナウイルスの広がりが収まらないなか、ゆいちくんの通っている保育園の関係者にも陽性者が出ました。夜21時半ごろに保育園から、「今週いっぱいはおやすみにさせていただきます」という旨の連絡がありました。先生方、夜遅くまでおつかれさます。電話が合ったのは月曜日。次の日ゆいちくんも濃厚接触者ではないという連絡が来るまでは両親ともに仕事を休みました。その日のうちにゆいちくんは濃厚接触者ではない、という連絡を受けて、「あなたはいつ休めるの？この日は出勤しないと…」という両親間の静かなけん制のしあいが始まりました。お互い状況を出しな

がら、「この日は…」と泣く泣く、

平和裏に(?)交互に出勤するス  
ケジュールを立てました。そして  
ゆいちくんとのがーい1週  
間の自粛生活がはまりました。  
ゆいちくんと父の1日は、大号  
泣からはじまります。朝、ご機嫌  
で遊んでいると母の出勤時間に。  
ゆいちくんからすると、〃なんで  
かあか、いなくなるの!?”で  
す。母がいなくなった後は「かあ  
か、だっこ、してほしい」と涙  
をぼろぼろ流しながら手を広げ  
て抱っこポーズをしています。  
「かあかだよ」と声色を変えて抱  
っこしようとしませんが、余計ヒー  
トアップ…。〃〇〇するつもりだ  
ったのに」とゆいちくんの思っ  
ていたつもりとちがうと大号泣

わーわー言いながらもしばらくす  
ると落ち着いてくると、次にやっ  
てくるのは「あそぼー攻撃」で  
す。私は仕事を持ち帰っていたこ  
ともあり、やりたいことがたくさ  
ん。甘い考えでした。「さんぽ、い  
こー」とおと、いつしよ、しよー  
と誘いかけてきます。こんな時に、  
一言目に「ちよつと待って」と言  
おうものなら「あそぼー攻撃」は  
より激しさを増してきます。「ち  
（ゆいち）がするー」と父のパソ  
コンのコンセント抜いたり差した  
り：ハンガーを思いつきり投げ飛  
ばしたり：父からすると「いらな  
いこと」をたくさんしますが、ゆ  
いちくんからすると「遊びたい」  
「かまって」のサインがいつぱい  
でした。「あとでね」「これだけさ  
せて」とこちらも粘りますが、結  
局おさんぽに行つて砂場で遊んだ  
り、ちよつとした台からジャンプ  
をひたすらくり返す遊びに付き合  
うことに。子どもの遊びたいエネ  
ルギーはすごい。遊ばないとこの

エネルギーはどんどん消化不良  
で膨らんでいくことを実感しま  
した。「たくさん遊んで、帰っ  
て寝ておくれ：」と太陽の光を  
浴びて汗だくで遊ぶゆいちくん  
を、下心いっばいで日陰から見  
守る父。家に帰ると、父もつか  
れて一緒に寝てしまい、ゆいち  
くんが静かな時間は父も意識の  
ない時間となりました。  
ごみ収集車のごみの回収を間  
近で見るという平日の休みなら  
ではの経験もできて1週間大満  
足のゆいちくん。新鮮な経験だ  
ったのか、一日中「ごみしゅー  
しゅーしゃ、ぽいっ、したなあ」  
と話しかけてくるゆいちくん。  
「それ、20回は聞いたよ！わか  
ったよ！」と叫びたくなるへろ  
へろの父でした。保育園がある  
ことに感謝です。

安藤 史郎(あかひつねの園)

# 知つ得情報

## 郵便による不在者投票

松本 美津男

いよいよ総選挙です。1票1票が今後の国政の行方を決める重要な選挙です。

投票所に行きにくい人が在宅で投票できる、郵便による不在者投票制度を簡単に紹介します。

### 〈対象者〉

(1) 身体障害者手帳所持者で、両下肢、体幹、移動機能の障害の程度が1級又は2級の人、心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸の障害の程度が1級又は3級の人、免疫、肝臓の障害の程度が1級から3級までの人。

(2) 戦傷病者手帳所持者で、両下肢、体幹の障害の程度が特別項症から第2項症の人、心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸、肝臓の障害の程度が特別項症から第3項症の人。

(3) 介護保険の被保険者証の要介護状態区分が「要介護5」の人。

※身体障害者手帳の上肢又は視覚障害1級の人、戦傷病者手帳の上肢又は視覚障害が特別項症から第2項症までの人は代理記載制度が利用できません。

### 〈申請先〉

選挙人名簿登録地の市区町村の選挙管理委員会。



## あなたもぜひ 仲間に

サロン・サークル・地域活動展開中  
生活支援スタッフ(資格不要)募集中  
介護職員(資格要)募集中

ひとりぼっちの高齢者をなくそう  
元気な高齢者はもっと元気に

「よろず相談」承ります(随時)



あなたも支える存在に  
京都市北区紫野東野町1-5  
電話075-432-3636

## 命の平等をかけた、

## 無差別平等の医療と

## 福祉の実現をめざす

## 働くひとびとの医療機関です

看護師・薬剤師・医師や医療技術者を

目指す方をご紹介ください



## 京都民主医療機関連合会

〒615-0004 京都市右京区西院下花田町21-3 春日ビル4階

TEL 075-314-5011(代) FAX 075-314-5017

Home Page <http://www.kyoto-min-iren.org>

e-mail: [info@kyoto-min-iren.org](mailto:info@kyoto-min-iren.org)

ありがとうございます

年会費

石野清子・石黒正弘・恵島千恵子・川手秀己・島田耕

(敬称略 2021. 9. 10)

## 力を合わせて生きる (その5)

日本と朝鮮半島の歴史、日本で生きてきた在日コリアンの歴史、ウトロ地区を知っていますか？

金順喜 (キン ジュンキ)

京都府宇治市伊勢田町ウトロ 51 番地。ウトロ地区に亡くなったアボジ (父方の) 多くの親族が居住する集落です。今でも高齢の叔母やその子孫が暮らしています。近鉄京都線普通列車に乗り 20 分ほどで伊勢田駅です。坂道を下り次を道なりに曲がるとウトロの入り口がある。民家の回りを看板が囲む光景が広がった。看板には「強制立ち退きは国際人権規約に反する」。「ウトロの子供にも明日をください」。「住み慣れたウトロを守りたい」。「ここで生きたい」などとペンキで書かれていました。朝鮮半島が日本の植民地となっていた時代、ウトロには飛行場建設が計画され、多くの朝鮮人が建設労働者として集められ飯場が形成されピーク時は朝鮮人労働者を中心に約 1,200 人が暮らしていたという。戦争が終わり使い捨てのように放置され、行き場のなかった朝鮮人たちは飛行場建設計画が中断したのちも厳しい貧困と差別のなかで、ウトロで暮らし続けてきました。

しかしウトロの土地が民間企業に転売されたことにより、一方的に立ち退きを迫られ生活の拠点が奪われかねない事態に陥りました。ウトロの人々は生活と権利を守るために自ら立ち上がり声をあげました。高齢化する一世の問題を中心に『住む』という事を考えていくとその声は、日本による加害の歴史と戦後も続く在日コリアンへの差別に心痛める多くの日本市民に支えられてきました。またその取り組みは国連からも住民たちへの差別を是正するよう勧告が出るなど、国際社会からも注目されました。そして韓国からもウトロに生きる同胞たちの生活とその歴史を守ろうという声が大きくなるとなり、韓国政府も支援に乗り出しました。こうした声が大きき力となって多くの支援が寄せられた結果、ウトロの土地問題が解決し、住民たちが安心して暮らせる場ができました。そして日本政府・京都府・宇治市によるウトロの人々のための住環境整備事業が実施され、集合住宅をはじめ道路や上下水道などの工事が進み、劣悪な環境にあったまちの姿も見違えるほど大きく変わりつつあります。

この地に日本と朝鮮半島の歴史、日本で生きてきた在日コリアンの歴史、そしてさまざまな困難を乗り越え、ともに歩んできた日韓市民、それらの記憶と思いを伝えて未来へとつないでいくために「ウトロ平和祈念館」が建設されます (2022年4月完成予定)。しかしそのさなかで去る8月30日、ウトロ地区の空き家から火災が発生しウトロ平和祈念館で展示される予定だった当時の生活用品や看板など、複数品目が延焼して燃えてしまったという悲しい出来事がありました。現在警察と消防が火災の原因を調査しています。